

9 騒音・振動関係データ

概要

府では、環境騒音（一般地域及び道路に面する地域）、航空機騒音、新幹線鉄道騒音、鉄軌道騒音（新幹線鉄道を除く。）、建設作業騒音、小規模飛行場騒音、振動及び低周波音について環境保全目標（巻末資料参照）を定めており、目標を達成するため各種施策を講じることとしています。平成20年度に講じた主な施策及び環境保全目標の達成状況は次のとおりです。

（1）道路に面する地域

道路面の改良などの道路構造対策及びに交通規制などの交通流対策等を実施しました。

環境保全目標の達成状況は、88.9%（昼間・夜間ともに達成）でした。（9-1）

（2）一般地域

工場・事業場、建設作業及びカラオケ騒音について騒音規制法、振動規制法及び府生活環境の保全等に関する条例に基づいて規制・指導を行いました。

環境保全目標の達成状況は、73.9%（昼間・夜間ともに達成）でした。（9-2）

（3）航空機騒音

大阪国際空港周辺で緑地整備や民家防音工事などの周辺環境対策を実施するとともに、大阪国際空港周辺及び関西国際空港周辺において航空機騒音の実態把握を行いました。

環境保全目標の達成状況は、大阪国際空港周辺においては常時測定では全ての測定局で達成しませんでした。随時測定では9地点中2地点で達成しました。一方、関西国際空港周辺においては随時測定でWECPNLを算出できた5地点中すべての地点で達成しました。（9-3、9-4、9-5）

（4）新幹線騒音

関係市町と連携し、JRによる騒音振動対策を促進するとともに新幹線騒音の実態把握を行いました。

環境保全目標の達成状況は、61.8%でした。（9-6）

現況データ

9-1 環境騒音（道路に面する地域）の環境保全目標達成状況

（平成20年度）

上段：%
下段：戸数

	評価戸数	昼夜とも 基準値以下	昼のみ 基準値以下	夜のみ 基準値以下	昼夜とも 基準値超過
幹線交通を担う道路に 近接する空間	264,575	83.4 220,605	8.1 21,452	0.3 715	8.2 21,803
非近接空間	389,221	92.7 360,680	2.4 9,459	0.6 2,330	4.3 16,752
府域全地域	653,796	88.9 581,285	4.7 30,911	0.5 3,045	5.9 38,555

注) 1 非近接空間：幹線交通を担う道路に近接する空間の背後地や幹線道路以外の道路に面する地域

2 昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～翌日の午前6時

9-2 環境騒音（一般地域）の環境保全目標達成状況

（平成20年度）

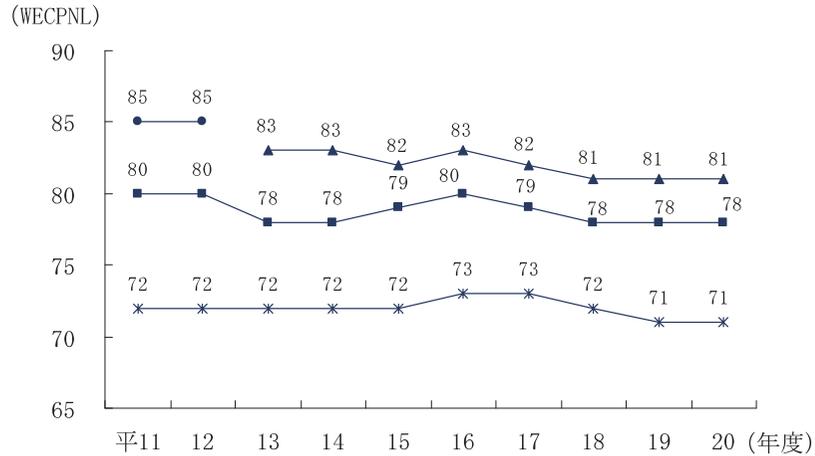
上段：%
下段：地点数

地域の類型	地点数	昼夜とも 基準値以下	昼のみ 基準値以下	夜のみ 基準値以下	昼夜とも 基準値超過
AA：特に静穏を要する地域	2	100.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0
A：専ら住居の用に供される地域及び B：主として住居の用に供される地域	315	73.3 231	16.5 52	4.1 13	6.0 19
C：相当数の住居と併せて商業、工業 等の用に供される地域	119	74.8 89	16.0 19	2.5 3	6.7 8
全地域	436	73.9 322	16.3 71	3.7 16	6.2 27

注) 1 地域の類型については、巻末資料（環境保全目標）を参照

2 昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～翌日の午前6時

9-3 大阪国際空港周辺における航空機騒音の常時測定結果の推移



●	穂積センター (豊中市服部西町5-21-7) [II]
▲	豊島温水プール (豊中市服部西町5-1-1) ※H13に穂積センターから移設 [II]
■	野田センター (豊中市野田町1-2) [I]
✱	西三国センター (大阪市淀川区十八条3-1-65) [I]

- 注) 1 WECPNLは、騒音が1日に何回も繰り返された時、1日の総騒音量をエネルギーに戻し平均したもので、時間帯の違いによる感じ方も考慮しています。
- 2 []内は、航空機騒音に係る環境保全目標の地域の類型(I :専ら住居の用に供される地域 II : I 以外の地域であって通常の生活を保全する必要がある地域)を示す。

9-4 大阪国際空港周辺における航空機騒音の随時測定結果

(平成20年度)

番号	測定地点	住所	指定区域	地域類型	測定結果 (3日間 パワー平均) WECPNL	環境保全目標 の達成状況 [達成:○] [非達成:×]	測定日
1	勝部大気測定室前	豊中市勝部2丁目132	2種	II	78	×	10月28日~30日
2	池田市下水処理場	池田市ダイハツ町3	1種	II	75	○	11月1日~3日
3	建設局公共施設充当地	大阪市淀川区西三国1-36	1種	I	74	×	10月28日~30日
4	淀川河川事務所毛馬出張所	大阪市北区長柄東3-3	—	II	70	○	〃
5	神田会館	池田市神田3丁目5-16	1種	I	72	×	10月29日~31日
6	庄内東センター	豊中市庄内東町3丁目7-15	1種	I	78	×	10月28日~30日
7	ローズ文化ホール	豊中市野田町4-1	1種	I	80	×	〃
8	服部寿センター	豊中市服部寿町2丁目19-9	1種	I	76	×	〃
9	青年の家いぶき	豊中市服部西町4丁目13-1	1種	I	76	×	〃

- 注) 1 指定区域は、「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」に基づく騒音対策区域を示す。
- 2 地域の類型については、巻末資料(環境保全目標)を参照
- I :専ら住居の用に供される地域
- II : I 以外の地域であって通常の生活を保全する必要がある地域

9-5 関西国際空港周辺における航空機騒音の随時測定結果

(平成20年度)

番号	実施主体	測定地点	地域類型	測定結果 WECPNL	環境保全目標の 達成状況 〔達成:○〕 〔非達成:×〕	測定日
2	小島総合集会所	I	61	○	〃	
3	高石市	高石市高砂3丁目		—※1	—	10月10日
4	泉大津市	府宮塚泉北港夕見公園	II	—※1	—	10月1日
5	和泉市	光明池堤敷	I	—※2	—	9月25日
6	岸和田市	岸和田市役所 第2別館屋上	I	51	○	10月2日
7	貝塚市	貝塚市二色4丁目緑道	I	56※3	○	〃
8	阪南市	阪南市立尾崎住民センター	I	57	○	10月30日 ～31日

注) 1 地域の類型については、巻末資料(環境保全目標)を参照

I:専ら住居の用に供される地域

II: I以外の地域であって通常の生活を保全する必要がある地域

2 WECPNL及びピークレベルの平均値は、暗騒音(航空機騒音を除いた騒音)より10デシベル以上大きい航空機騒音のピークレベルから算出

3 表中のWECPNL欄の「—※1」は、日中のみ測定を行いWECPNLを算出していないことを示す。また「—※2」は、暗騒音より10デシベル以上大きい航空機騒音が観測されなかったためWECPNLが算出されないことを示す。「※3」は24時間測定ではないため、WECPNLは参考値であることを示す。

9-6 新幹線鉄道騒音の環境保全目標達成状況

(平成20年度)

地域類型	I				II				
	測定地点別内訳				測定地点別内訳				
	12.5m	25m	50m	その他	12.5m	25m	50m		
測定回数(回)	25	5	10	9	1	9	3	3	3
環境保全目標達成回数(回)	12	0	5	7	0	9	3	3	3
達成率(%)	48	0	50	78	0	100	100	100	100

注) 1 地域の類型については、巻末資料(環境保全目標)を参照

I:主として住居の用に供される地域

II:商工業の用に供される地域等 I 以外の地域であって通常の生活を保全する必要がある地域

2 測定地点別内訳の数値は、近接側軌道中心から測定地点までの距離を示す。

9-7 在来線鉄軌道の騒音振動実態調査の結果

軌道構造	地点数	ピーク騒音(dB)		等価騒音(dB)		振動(dB)	
		最大～最小	平均	最大～最小	平均	最大～最小	平均
平坦	28	76～87	83.1	57～71	65.4	47～64	55.8
高架	17	67～80	73.8	51～63	57.8	48～60	54.0
盛土	15	72～87	81.2	54～70	63.8	47～61	53.3
全体	60	67～87	81.3	51～71	63.8	47～64	54.7

注) 1 測定値は、近接側軌道の中心から概ね12.5m地点での値を示す。

2 測定は、平成13～15年にかけて実施。

■騒音関係対策データ

9-8 道路における遮音壁、低騒音舗装の設置状況

(平成20年度)

道路管理者	遮音壁(m)				低騒音舗装(m)	
	従来型		新型		新設	再舗装
	新設	既存改良	新設	既存改良		
国	1457	0	0	0	3444	4278
西日本高速道路(株)	0	0	0	0	5363	10979
阪神高速道路(株)	0	0	0	0	0	318
府 (府道路公社含む)	531	349	0	0	11645	20664
大阪市	0	0	0	0	20960	2320
堺市	0	0	0	0	0	20370

9-9 主要交通規制の実施状況

(平成20年度末現在)

規制種別	区間等	合計	
		区間等	延長(km)
歩行者用道路 (自転車歩行者用道路を含む。)		4,411 (16)	804
大型等通行禁止		5,696 (21)	2,521
一方通行		11,781	2,578
駐(停)車禁止		12,687 (65)	7,284
一時停止		63,751	—
最高速度	40~80km/h	1,872	2,885
	20~30km/h	10,090 (53)	5,720
バス優先規制		72	108
自転車歩道通行可		1,771	3,307
追い越しのための 右側部分はみ出し禁止		1,849	2,338

注) 1 ()は、地域規制数を外数で示す。

2 バス優先規制とは、バス専用道路、バス専用通行帯及びバス優先通行帯をいう。

3 大型等通行禁止とは、大型自動車等通行止め、特定の最大積載量以上の貨物自動車等通行止めをいう。

9-10 在来線鉄軌道騒音・振動対策の実施状況

(平成20年度末現在)

対策の種類		対策の内容
防音壁の設置		283.3km(上下線の合計)
ロングレールの敷設		1000.4km(")
弾性枕木の敷設		88.6 km(")
鉄橋の防音工事		47ヶ所
無道床鉄橋の有道床化		427ヶ所
レール表面の削正(H20実績)	一般部	124.6 km(延長距離)
	溶接部	1159 ヶ所

9-11 新幹線鉄道騒音・振動対策の実施状況

(平成20年度末現在)

対策の種類		対策の内容
防音壁の設置	直型	46.9 km(上下線の合計)
	干渉型	17.0 km(")
	嵩上	3.8 km(")
バラストマットの敷設		39.3 km(")
弾性枕木の敷設		5.1 km(")
レールの重量化		59.6 km(")
鉄橋の防音工事		10ヶ所(全線)
民家防音工事	80デシベル対策	1,292戸/1,295戸(完了戸数/対象戸数)
	75デシベル対策	2,204戸/2,697戸(")
民家防振工事		264戸 / 304戸(")